

くすりの上手な飲ませ方

3つの基本ルール

- ① 量と回数を守る。(自己判断で増減しない)
- ② 市販薬と併用しない。
- ③ 子どもの手の届かないところへ保管する。

乳児への飲ませ方

☆水薬はそのまま与える。

☆粉薬は少量の水で練り、上あごや頬の内側に塗りつけ、その後水分を与える。

幼児への飲ませ方

☆そのまま与えるか、子どもの好きなもの(アイスクリーム、プリン、ゼリー、ジャムなど)に混ぜて与える。

飲ませる時の注意

- 主食のおかゆやミルクには絶対混ぜない。
おかゆやミルク嫌いの原因になることがあります。
- 熱いものに混ぜない。
薬の成分が変化してしまうことがあります。
- 抗生物質は、混ぜる物に注意。
ヨーグルト、酸味のあるジュース、
スポーツ飲料に混ぜると、
苦味が増すことがあります。



★薬は、指示どおりに飲まないとも効果が十分発揮できません。
わからないことは、医師・薬剤師に気軽に相談しましょう。

座薬の使い方

座薬の使い方

- ☆冷蔵庫で保存する。
- ☆カットする場合は外装の上から、はさみやナイフで切る。
- ☆座薬の先を指で温めて丸みをつけたり、オリーブオイルなどを塗ったりすると無理なく入ります。奥まで挿入し、しばらく押さえておきましょう。



くすりの Q&A

- Q** 食後に飲ませる薬なのに、何も食べていない時は？
A 薬だけ与えても大丈夫です。
- Q** 飲み忘れた時はどうするの？
A 指示された回数を、5～6時間間隔をあけて飲ませれば大丈夫です。
- Q** 眠っているときは、起こして飲ませるの？
A 無理に起こさず、目ざめた時に飲ませましょう。
- Q** 飲ませたのに、吐いてしまったら？
A 薬を飲んで30分以上たっていれば、もう一度飲ませる必要はありません。飲んで、すぐ全量を吐いた場合は、もう一度飲ませます。
- Q** 座薬を入れて、しばらくして出てしまったら？
A 熱さましの場合、追加せず1時間ほど待ち、熱が下がらなければ改めて1回分追加してください。
- Q** 症状が治ったら、飲ませなくてもいい？
A 抗生物質など、飲みきることが必要な薬もあります。医師に確認しましょう。

救急医療

救急車

けいれん

発熱

せき

下痢

おう吐

腹痛

発疹

誤飲・誤食

けが

やけど

熱中症

くすり

座薬

口・歯